

サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』 【生成サンプル】

1.本サンプルについて

本サンプルは、サーバー設定仕様書自動生成サービス『SSD-assistance』を使用して生成された編集可能な Microsoft Excel (.xlsx) 形式のファイルを、PDF化したものです。実際に生成される設定仕様書は非常に情報量が多いため、繰り返しの部分などを一部省略しておりますが、出力される項目については全てご確認いただける内容となっております。

2.サーバー設定仕様書自動生成サービス 『SSD-assistance』とは

セイ・テクノロジーズでは設定仕様書(パラメーターシート)を自動で作成するサービス『SSD-assistance』を提供しております。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

3.お問い合わせ

SSD-assistanceに関するお問い合わせは、お気軽に以下のお問い合わせフォームからご連絡ください。

[詳しくはこちらをクリックしてください](#)

WindowsクライアントPC 設定仕様書

仕様書商事 様

コンピューター名	SAY-TECH-SV01
作成日	20YY年MM月DD日
作成者	セイ・テクノロジーズ

セイ・テクノロジーズ株式会社

(住所)

改訂履歷

1. システム構成

システムを構成しているハードウェア(ディスク、NICなど)やソフトウェア(役割と機能、更新プログラムなど)を記載しています。

2. システム設定

Windowsのシステム設定の主な設定内容を記載しています。

3. ローカルユーザーとグループ

ローカルユーザーの一覧と、ローカルユーザーとグループのプロパティを記載しています。

4. グループ ポリシー

このコンピューターに適用されているグループ ポリシー(コマンド"`gpresult /v /scope computer`"の結果)を記載しています。

5. ローカル グループ ポリシー

ローカル グループ ポリシーを記載しています。

6. ファイアウォール (送受信の規則)

Windows Defender ファイアウォールの受信の規則、および送信の規則の一覧です。

7. ファイアウォール (詳細設定)

Windows Defender ファイアウォールの設定、接続セキュリティの規則、受信の規則と送信の規則の詳細な設定内容を記載しています。

8. タスク スケジューラ

タスク スケジューラの一覧です。

9. タスク スケジューラ (詳細設定)

タスク スケジューラの詳細設定を記載しています。

◆商標

Microsoft、Windows、Windows Server は、米国Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。その他の各製品名は、各社の商標または登録商標です。

1. システム構成

1.1. ハードウェア

シリアルNo.	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
製造元	Microsoft Corporation
モデル	Virtual Machine

1.2. ディスク

このコンピューターに搭載しているディスク ドライブの一覧です。

No.	モデル	サイズ
1	Microsoft 仮想ディスク	127 GB

ディスクで構成している論理ボリュームの一覧です。

No.	DeviceID	FileSystem	FreeSpace	Size	ProviderName
1	C:	NTFS	112 GB	126 GB	

1.3. NIC

※DHCP サーバー、DNS サーバーは、IPv4 アドレスのみを記載しています。

No. 1	
デバイス名	Microsoft Hyper-V Network Adapter
MAC アドレス	xx:xx:xx:xx:xx
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx xx
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP 有効	有効
DHCP サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サフィックス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXX

No. 2	
デバイス名	WAN Miniport (IP)
MAC アドレス	xx:xx:xx:xx:xx:xx
IP アドレス	xxx.xxx.xxx.xxx
サブネットマスク	xxx.xxx.xxx.xxx xx
デフォルトゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx
DHCP 有効	有効
DHCP サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サーバー (IPv4)	xxx.xxx.xxx.xxx
DNS サフィックス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

1.4. IPアドレス設定

Windows IP 構成	
ホスト名	SAY-TECH-SV01
プライマリ DNS サフィックス	SAY-TECH-SV01.com
ノード タイプ	ハイブリッド
IP ルーティング有効	いいえ
WINS プロキシ有効	いいえ
DNS サフィックス検索一覧	SAY-TECH-SV01.com

hosts設定		
hostsファイルの内容を記載しています。		
No.	IP アドレス	ホスト名
1	xxx.xxx.xxx.xxx	SAYxxx

ネットワークアダプター	
No. 1	
名前	イーサネット アダプター イーサネット
メディアの状態	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
接続固有の DNS サフィックス	SAY-TECH-SV01.com

説明	Microsoft Hyper-V Network Adapter			
物理アドレス	xx:xx:xx:xx:xx			
DHCP 有効	はい			
自動構成有効	はい			
一時 IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx			
リンクローカル IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)			
デフォルト ゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx			
DHCP サーバー	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx			
DHCPv6 IAID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX			
DHCPv6 クライアント DUID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX			
DNS サーバー	xxx.xxx.xxx.xxx			
NetBIOS over TCP/IP	有効			
接続固有の dns サフィックス検索の一覧	XXXXXXXXXXXXXXXXXX			

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv4 アドレスの一覧です。

No.	IPv4 アドレス	サブネット マスク	リース取得	リースの有効期限
1	xxx.xxx.xxx.xxx(優先)	xxx.xxx.xxx.xxx	20YY年MM月DD日	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv6 アドレスの一覧です。

No.	IPv6 アドレス	リース取得	リースの有効期限
1	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

No. 2

名前	Tunnel adapter isatap.say.co.jp			
メディアの状態	メディアは接続されていません			
接続固有の DNS サフィックス	SAY-TECH-SV01.com			
説明	Microsoft ISATAP Adapter			
物理アドレス	xx:xx:xx:xx:xx			
DHCP 有効	いいえ			
自動構成有効	はい			
一時 IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx			
リンクローカル IPv6 アドレス	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)			
デフォルト ゲートウェイ	xxx.xxx.xxx.xxx			
DHCP サーバー	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx			
DHCPv6 IAID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX			
DHCPv6 クライアント DUID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX			
DNS サーバー	xxx.xxx.xxx.xxx			
NetBIOS over TCP/IP	有効			
接続固有の dns サフィックス検索の一覧	XXXXXXXXXXXXXXXXXX			

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv4 アドレスの一覧です。

No.	IPv4 アドレス	サブネット マスク	リース取得	リースの有効期限
1	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

このネットワーク アダプターに割り当てられたIPv6 アドレスの一覧です。

No.	IPv6 アドレス	リース取得	リースの有効期限
1	xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx:xxxx(優先)	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

1.5. インストールされた更新プログラム

インストールされた更新プログラムをインストール日降順で記載しています。

No.	名前	プログラム	発行元	インストール日 (yyyyMMdd)
1	KBxxxxxxx	Microsoft Windows	Microsoft Corporation	yyyyMMdd
2	KBxxxxxxx	Microsoft Windows	Microsoft Corporation	yyyyMMdd
3	KBxxxxxxx	Microsoft Windows	Microsoft Corporation	yyyyMMdd

一部省略

1.6. インストールされたプログラム

インストールされたプログラムをインストール日降順で記載しています。

No.	名前	バージョン	発行元	インストール日 (yyyyMMdd)
1	Microsoft Edge WebView2 Runtime	102.0.1245.44	Microsoft Corporation	yyyyMMdd
2	Microsoft Edge Update	1.3.195.15		yyyyMMdd
3	Microsoft Edge	86.0.622.38	Microsoft Corporation	yyyyMMdd

1.7. サービス

Windows に登録されたサービスの一覧です。

No.	表示名	サービス名	スタートアップの種類	状態
1	AllJoyn Router Service	AJRouter	手動	停止
2	Application Layer Gateway Service	ALG	手動	停止
3	Application Identity	ApplDSvc	手動	停止
4	Application Information	Appinfo	手動	実行中
5	Application Management		手動	実行中

一部省略

2. システム設定

2.1. システムの情報 … [コントロール パネル] - [システム]

Windowsのエディション

エディション	Microsoft Windows Server 2022 Datacenter
バージョン	21H2
バージョン(旧表記、2009以降未使用)	2009
OSビルド	20348,169
サービスパック	

システム

プロセッサ

プロセッサ名	Intel(R) Xeon(R) CPU E3-1226 v3 @ 3.30GHz
プロセッサ数	1
合計コア数	4
メモリ	1.96 GB
システムの種類	x64-based PC

コンピュータ名、ドメインおよびワークグループの設定

コンピューター名	SAY-TECH-SV01
フルコンピューター名	SAY-TECH-SV01.com
コンピューターの説明	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ワークグループ/ドメイン	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

Windowsライセンス認証

プロダクトID	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
---------	--------------------

2.2. Windows Update … [設定] - [更新とセキュリティ]

アクティブ時間

☐ このデバイスのアクティブ時間を、アクティビティに基づいて自動的に調整する

開始時刻	8:00
終了時刻	17:00

詳細オプション

更新プログラムのオプション

☐ Windows の更新時に他の Microsoft 製品の更新プログラムを受け取る

☐ 従量制課金接続を使って更新プログラムをダウンロードする

☐ 更新プログラムをインストールするために再起動が必要な場合は、できるだけすぐにこのデバイスを再起動してください。
再起動の前に通知が表示されます。デバイスがコンセントに接続されていて電源が入っている必要があります。

更新プログラムの通知

☐ 更新を完了するためにPCの再起動が必要な場合は、通知を表示します

更新の一時停止

一時停止期間

2.3. デバイスのインストール設定 … [システムのプロパティ] - [ハードウェア] - [デバイスのインストール設定]

デバイス用に利用可能な製造元のアプリとカスタム アイコンを自動的にダウンロードしますか？

☒ はい

☐ いいえ

2.4. パフォーマンス … [システムのプロパティ] - [詳細設定] - [パフォーマンス]

視覚効果

☒ コンピュータに応じて最適なものを自動的に選択する

☐ デザインを優先する

☐ パフォーマンスを優先する

☐ カスタム

詳細設定

プロセッサのスケジュール

☐ プログラム

☒ バックグラウンドサービス

仮想メモリ

☒ すべてのドライブのページングファイルサイズを自動的に管理する

各ドライブのページングファイルのサイズ

ドライブ	ページングファイルのサイズ (MB)		
	タイプ	初期サイズ	最大サイズ
XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

データ実行防止

☐ 重要なWindowsのプログラムおよびサービスについてのみ有効にする

- 次に選択するものを除くすべてのプログラムおよびサービスについてDEPを有効にする

2.5. 起動と回復 … [システムのプロパティ] - [詳細設定] - [起動と回復]

起動システム

既定のオペレーティングシステム Windows Server

- オペレーティングシステムの一覧を表示する時間 30 秒間
- 必要なときに修復オプションを表示する時間 30 秒間

システムエラー

- システムログにイベントを書き込む
- 自動的に再起動する

デバッグ情報の書き込み

メモリ ダンプ

- ☐ (なし)
- ☐ 完全メモリダンプ
- ☐ 最小メモリダンプ (256KB)
- ☐ アクティブメモリ ダンプ
- ☐ カーネルメモリダンプ
- 自動メモリダンプ

ダンプ ファイル C:\Windows\MEMORY.DMP

- 既定のファイルに上書きする
- ディスク領域が少ないときでもメモリ ダンプの自動削除を無効にする

2.6. 環境変数 … [システムのプロパティ] - [詳細設定] - [環境変数]

ユーザー環境変数

ユーザー	変数	値
NT AUTHORITY\SYSTEM	Path	%USERPROFILE%\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps;
NT AUTHORITY\SYSTEM	TEMP	%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp
NT AUTHORITY\SYSTEM	TMP	%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp
NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE	Path	%USERPROFILE%\AppData\Local\Microsoft\WindowsApps;
NT AUTHORITY\LOCAL SERVICE	TEMP	%USERPROFILE%\AppData\Local\Temp

一部省略

システム環境変数

変数	値
ComSpec	%SystemRoot%\system32\cmd.exe
DriverData	C:\Windows\System32\Drivers\DriverData
OS	Windows_NT
Path	%SystemRoot%\system32;%SystemRoot%;%SystemRoot%\System32\Wbem;%SYSTEMROOT%\System32\WindowsPowerShell\v1.0%;%SYSTEMROOT%\System32\OpenSSH\
PATHEXT	.COM;.EXE;.BAT;.CMD;.VBS;.VBE;.JS;.JSE;.WSF;.WSH;.MSC
PROCESSOR_ARCHITECTURE	AMD64
PSModulePath	%ProgramFiles%\PowerShell\Modules;%SystemRoot%\system32\WindowsPowerShell\v1.0\

一部省略

2.7. リモート … [システムのプロパティ] - [リモート]

リモートアシスタンス

- このコンピュータへのリモートアシスタンス接続を許可する

リモート制御

- このコンピュータがリモートで制御されるのを許可する

招待

招待を有効にしておく最大の時間 分 時間 日

- Windows Vista 以降を実行しているコンピュータからのみ使用できる招待を作成する

リモート デスクトップ

- ☐ このコンピュータへのリモート接続を許可しない
- このコンピュータへのリモート接続を許可する
- ネットワーク レベル認証でリモート デスクトップを実行しているコンピュータからのみ接続を許可する

リモート デスクトップ ユーザー

2.8. 日付と時刻 … [コントロール パネル] - [日付と時刻]

日付と時刻

- 時刻を自動的に設定する
- タイム ゾーンを自動的に設定する

タイムゾーン		
タイムゾーン	(UTC+09:00) 大阪、札幌、東京	
☒ 時計が変更されたら通知を受け取る		
追加の時計		
☐ この時計を表示する		
タイムゾーンの選択	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
表示名の入力	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
☐ この時計を表示する		
タイムゾーンの選択	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
表示名の入力	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
インターネット時刻		
☒ インターネット時刻サーバーと同期する		
サーバー	time.windows.com,0x8	

2.9. プリンター情報 … [設定] - [デバイス] - [プリンターとスキャナー]

No. 1		
プリンター名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
モデル名	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX	
コメント		
印刷するポート		
ポート名	IPアドレス	説明
XXXX	XXX.XXX,XXX,XXX	

3. ローカルユーザーとグループ

3.1. ローカルユーザー

No.	名前	フルネーム	説明
1	Administrator	XXXXXXXXXXXXXXXXXX	コンピューター/ドメインの管理用 (ビルトイン アカウント)

3.2. 各ローカルユーザーのプロパティ

No. 1 Administrator	
名前	Administrator
フルネーム	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
説明	コンピューター/ドメインの管理用 (ビルトイン アカウント)

- ☐ ユーザーは次回ログオン時にパスワードの変更が必要
- ☐ ユーザーはパスワードを変更できない
- ☒ パスワードを無期限にする
- ☐ アカウントを無効にする
- ☐ アカウントのロックアウト

所属するグループ	
No.	名前
1	Administrators
2	Hyper-V Administrators
3	Performance Log Users
4	docker-users

プロファイル	
ユーザー プロファイル	
プロファイル パス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ログオン スクリプト	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
ホーム フォルダー	
☒ ローカル パス	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
☐ 接続ドライブ	パス:

環境	
起動プログラム	
☐ ログオン時に次のプログラムを起動する	
プログラムのファイル名	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
作業フォルダー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

クライアントのデバイス	
☒ ログオン時、クライアントのドライブに接続する	
☒ ログオン時、クライアントのプリンターに接続する	
☒ クライアントの通常使うプリンターを既定にする	

セッション	
切断されたセッションの終了	しない
アクティブ セッションの最大時間	しない
アイドルなセッションの最大時間	しない
セッションの限界に達したり接続が中断した場合	
☒ セッションから切断する	
☐ セッションを終了する	

再接続の許可	
☒ すべてのクライアント	
☐ 前回接続したクライアント	

リモート制御	
☒ リモート制御を有効にする	
☒ セッションを制御、監視するにはユーザーの許可を必要とする	
制御レベル	
☐ ユーザーのセッションを監視する	
☒ ユーザーのセッションと対話する	

リモート デスクトップ サービスのプロファイル	
リモート デスクトップ サービスのユーザー プロファイル	
プロファイル パス	

☒ ローカル パス	
☐ 接続ドライブ	パス:
☐ このユーザーのリモート デスクトップ セッション ホスト サーバーへのログオンを拒否する	

リモートアクセス許可

☐ アクセスを許可

☐ アクセスを拒否

☒ NPS ネットワーク ポリシーでアクセスを制御

☐ 発信者番号を確認

☒ コールバックしない

☐ 呼び出し元による設定 (ルーティングとリモート アクセス サービスのみ)

☐ 常に次の電話番号にコールバック

☐ 静的 IP アドレスを割り当てる

☐ 静的 IPv4 アドレスを割り当てる

☐ 静的 IPv6 アドレスを割り当てる

☐ プレフィックス

☐ インターフェイス ID

☐ 静的ルートを適用

No.	種類	宛先/マスク	メトリック
1			

名前	Access Control Assistance Operators	
説明	このグループのメンバーは、このコンピューター上のリソースの認証属性およびアクセス許可をリモートから照会できます。	
所属するメンバー		
No.	名前	
1		

名前	Administrators
説明	コンピューター/ドメインに完全なアクセス権があります。
所属するメンバー	
No.	名前
1	Administrator

名前	Backup Operators
説明	Backup Operators は、バックアップの作成またはファイルを復元するときには、セキュリティの制限を無視することができます。
所属するメンバー	
No.	名前
1	

名前	Certificate Service DCOM Access
説明	このグループのメンバーは、エンタープライズの証明機関に接続できます。
所属するメンバー	
No.	名前
1	

一部省略

4. グループ ポリシー

本書は、ローカルの管理者の設定を出力する為、グループポリシーを適用している環境では、実際に適用されている設定と異なる内容が表示される場合があります。

Microsoft (R) Windows (R) Operating System グループ ポリシーの結果ツール v2.0
c Microsoft Corporation. All rights reserved.

作成日 2024/09/02 時刻 13:58:55

RSOP のデータ SAY-TECH-SV01¥Administrator - SAY-TECH-SV01 : ログ モード

OS 構成: メンバー サーバー
OS バージョン: 10.0.20348
サイト名: Default-First-Site-Name
移動プロファイル: N/A
ローカル プロファイル C:¥Users¥Administrator
低速リンクで接続: いいえ

コンピューター設定

前回のグループ ポリシーの適用時: 20YY/MM/DD (hh:mm:ss)
グループ ポリシーの適用元: SAY-2016.tech
グループ ポリシーの低速リンクのしきい値: 500 kbps
ドメイン名: SAY
ドメインの種類: WindowsNT 4

適用されたグループ ポリシー オブジェクト

Default Domain Policy
ローカル グループ ポリシー

システムは次のセキュリティ グループの一部です

BUILTIN¥Administrators
Everyone
BUILTIN¥Users
RDS Endpoint Servers
NT AUTHORITY¥NETWORK
NT AUTHORITY¥Authenticated Users
This Organization
認証機関によりアサートされた ID
System Mandatory Level

一部省略

GPO: Default Domain Policy
フォルダー ID: Software¥Policies¥Microsoft¥W32Time¥Config¥RequireSecureTimeSyncRequests
値: 0, 0, 0, 0
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy
フォルダー ID: Software¥Policies¥Microsoft¥W32Time¥Config¥MaxPosPhaseCorrection
値: 0, 163, 2, 0
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy
フォルダー ID: Software¥Policies¥Microsoft¥W32Time¥Config¥ChainEntryTimeout

値: 16, 0, 0, 0
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy
フォルダー ID: Software\Policies\Microsoft\W32Time\Config\ChainMaxEntries
値: 128, 0, 0, 0
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy
フォルダー ID: Software\Policies\Microsoft\W32Time\Config\SpikeWatchPeriod
値: 132, 3, 0, 0
状態: 有効

GPO: Default Domain Policy
フォルダー ID: Software\Policies\Microsoft\W32Time\Config\MinPollInterval
値: 6, 0, 0, 0
状態: 有効

5. ローカルグループポリシー

5.1. ローカル グループ ポリシー

[コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [システム] - [Windowsタイムサービス]

グローバル構成設定

FrequencyCorrectRate	4
HoldPeriod	5
LargePhaseOffset	50000000
MaxAllowedPhaseOffset	1
MaxNegPhaseCorrection	54000
MaxPosPhaseCorrection	54000
PhaseCorrectRate	1
PollAdjustFactor	5
SpikeWatchPeriod	900
UpdateInterval	100
AnnounceFlags	10
EventLogFlags	2
LocalClockDispersion	10
MaxPollInterval	10
MinPollInterval	6
ClockHoldoverPeriod	7800
RequireSecureTimeSyncRequests	
UtilizeSslTimeData	1
ClockAdjustmentAuditLimit	800
ChainEntryTimeout	
ChainMaxEntries	
ChainMaxHostEntries	
ChainDisable	
ChainLoggingRate	

[コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [システム] - [Windowsタイムサービス] - [タイムプロバイダー]

Windows NTP クライアントを構成する

NtpServer	time.windows.com,0x8
Type	NTP
CrossSiteSyncFlags	2
ResolvePeerBackoffMinutes	15
ResolvePeerBackoffMaxTimes	7
SpecialPollInterval	1024
EventLogFlags	1

Windows NTP クライアントを有効にする	True
Windows NTP サーバーを有効にする	False

[コンピューターの構成] - [管理用テンプレート] - [Windows コンポーネント] - [Windows Update]

自動更新を構成する

☒ 未構成

☐ 有効

☐ 無効

オプション

自動更新の構成	3 - 自動ダウンロードしインストールを通知
---------	------------------------

以下の設定が必要なのは (適用されるのは)、4 を選択した場合だけです。

☐ 自動メンテナンス時にインストールする

インストールを実行する日	
インストールを実行する時間	

スケジュールされているインストール日に対して [4 - 自動ダウンロードしインストール日時を指定] を選択してスケジュールを指定した場合、以下のオプションを使用して更新を毎週、隔週、または毎月行うように制限できます。

☐ 毎週

☐ 毎月第1週

☐ 毎月第2週

☐ 毎月第3週

☐ 毎月第4週

☐ 他の Microsoft 製品の更新プログラムのインストール

[コンピューターの構成] - [Windowsの設定] - [セキュリティの設定] - [ローカルポリシー] - [セキュリティオプション]

ユーザー アカウント制御: アプリケーションのインストールを検出し、昇格をプロンプトする	有効	
ユーザー アカウント制御: ビルトイン Administrator アカウントのための管理者承認モード	未定義	
ユーザー アカウント制御: 安全な場所にインストールされている UIAccess アプリケーションの昇格のみ	有効	
ユーザー アカウント制御: 各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの書き込みエラーを仮想化する	有効	
ユーザー アカウント制御: 管理者承認モードですべての管理者を実行する	有効	
ユーザー アカウント制御: 管理者承認モードでの管理者に対する昇格時のプロンプトの動作	Windows 以外のバイナリに対する同意を要求する	
ユーザー アカウント制御: 署名され検証された実行ファイルのみを昇格する	無効	
ユーザー アカウント制御: 昇格のプロンプト時にセキュリティで保護されたデスクトップに切り替える	有効	
ユーザー アカウント制御: 標準ユーザーに対する昇格時のプロンプトの動作	資格情報を要求する	
[コンピューターの構成] - [Windowsの設定] - [セキュリティの設定] - [アカウント ポリシー] - [パスワードのポリシー]		
パスワードの最小文字数の監査	8	文字
パスワードの最小文字数の制限を緩和する		
パスワードの長さ	7	文字以上
パスワードの変更禁止期間	0	日
パスワードの有効期限	無期限	
パスワードの履歴を記録する	0	回
暗号化を元に戻せる状態でパスワードを保存する	無効	
複雑さの要件を満たす必要があるパスワード	無効	
[コンピューターの構成] - [Windowsの設定] - [セキュリティの設定] - [アカウント ポリシー] - [アカウント ロックアウトのポリシー]		
アカウントのロックアウトのしきい値	0	回ログインに失敗
ロックアウト カウンターのリセット	XXXXXXX	分後
ロックアウト期間	XXXXXXX	分
管理者のアカウント ロックアウトを許可する	未定義	

6. ファイアウォール (送受信の規則)

※受信の規則、送信の規則はそれぞれ1000件まで記載しています。

1.1. 受信の規則

No. 1 (受信)

名前	コア ネットワーク - マルチキャスト リスナー レポート (ICMPv6 受信)		
プロファイル	☒ ドメイン	☒ プライベート	☒ パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	System		
プロトコル	IPv6-ICMP		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	LocalSubnet		
ローカル ポート	任意		
リモート ポート	任意		
承認されているユーザー	任意		
承認されているコンピューター	任意		
承認されたローカル プリンシパル	任意		

No. 2 (受信)

名前	アカウント		
プロファイル	☒ ドメイン	☒ プライベート	☐ パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	任意		
プロトコル	任意		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	任意		
ローカル ポート	任意		
リモート ポート	任意		
承認されているユーザー	任意		
承認されているコンピューター	任意		
承認されたローカル プリンシパル	任意		

No. 3 (受信)

名前	Skype for Business		
プロファイル	☐ ドメイン	☐ プライベート	☒ パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	C:¥Program Files¥Microsoft Office¥Office16¥lync.exe		
プロトコル	TCP		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	任意		
ローカル ポート	すべてのポート		
リモート ポート	すべてのポート		
承認されているユーザー	任意		
承認されているコンピューター	任意		

一部省略

6.2. 送信の規則

No. 1 (送信)

名前	ファイルとプリンターの共有 (NB 名送信)		
プロファイル	☐ ドメイン	☒ プライベート	☐ パブリック
有効	はい		
操作	許可		
優先	いいえ		
プログラム	System		
プロトコル	UDP		
ローカル アドレス	任意		
リモート アドレス	任意		
ローカル ポート	すべてのポート		

リモート ポート	137
承認されているコンピューター	任意
承認されたローカル プリンシパル	任意

No. 2 (送信)	
名前	SmartScreen
プロファイル	☒ ドメイン ☒ プライベート ☒ パブリック
有効	はい
操作	許可
優先	いいえ
プログラム	任意
プロトコル	任意
ローカル アドレス	任意
リモート アドレス	任意
ローカル ポート	任意
リモート ポート	任意
承認されているコンピューター	任意
承認されたローカル プリンシパル	任意

No. 3 (送信)	
名前	ネットワーク探索 (LLMNR UDP 送信)
プロファイル	☒ ドメイン ☐ プライベート ☒ パブリック
有効	いいえ
操作	許可
優先	いいえ
プログラム	%SystemRoot%\system32\svchost.exe
プロトコル	UDP
ローカル アドレス	任意
リモート アドレス	LocalSubnet
ローカル ポート	すべてのポート
リモート ポート	5355
承認されているコンピューター	任意
承認されたローカル プリンシパル	任意

一部省略

7. ファイアウォール (詳細設定)

7.1. Windows Defender ファイアウォールのプロパティ

ドメイン プロファイル

状態	
ファイアウォールの状態	有効
受信接続	ブロック
送信接続	許可
保護されているネットワーク接続	

- イーサネット
- イーサネット 2

設定	
ファイアウォールの設定	
通知を表示する	いいえ
ユニキャスト応答	
ユニキャスト応答の許可	はい
規則のマージ	
ローカル ファイアウォールの規則を適用する	はい
ローカル接続のセキュリティ規則を適用する	はい

ログ	
名前	%systemroot%\system32\LogFiles\Firewall\pfirewall.log
サイズ制限 (KB)	4096
破棄されたパケットをログに記録する	いいえ
正常な接続をログに記録する	いいえ

プライベート プロファイル

状態	
ファイアウォールの状態	有効
受信接続	ブロック
送信接続	許可
保護されているネットワーク接続	

- イーサネット
- イーサネット 2

設定	
ファイアウォールの設定	
通知を表示する	いいえ
ユニキャスト応答	
ユニキャスト応答の許可	はい
規則のマージ	
ローカル ファイアウォールの規則を適用する	はい
ローカル接続のセキュリティ規則を適用する	はい

ログ	
名前	%systemroot%\system32\LogFiles\Firewall\pfirewall.log
サイズ制限 (KB)	4096
破棄されたパケットをログに記録する	いいえ
正常な接続をログに記録する	いいえ

パブリック プロファイル

状態	
ファイアウォールの状態	有効
受信接続	ブロック
送信接続	許可
保護されているネットワーク接続	

- イーサネット
- イーサネット 2

設定	
ファイアウォールの設定	
通知を表示する	いいえ
ユニキャスト応答	

ユニキャスト応答の許可	はい
規則のマージ	
ローカル ファイアウォールの規則を適用する	はい
ローカル接続のセキュリティ規則を適用する	はい
ログ	
名前	%systemroot%\system32\LogFiles\Firewall\pfirewall.log
サイズ制限 (KB)	4096
破棄されたパケットをログに記録する	いいえ
正常な接続をログに記録する	いいえ

IPsec の設定

IPsec 既定

キー交換

- ☒ 既定
☐ 詳細設定

セキュリティメソッド

キー交換に次のセキュリティ メソッドを使用します。一覧の上位のものが先に試行されます。

整合性	暗号化	キー交換アルゴリズム
SHA1	AES128	DH2
SHA1	DES3	DH2

キーの有効期間

分	480
セッション	0
キー交換のオプション	☐ Diffie-Hellman を使用してセキュリティを強化する

データ保護

- ☒ 既定
☐ 詳細設定
☐ この設定を使用するすべての接続セキュリティ規則に暗号化を要求する

データの整合性 ※プロトコルは、Windowsの画面表示とは別の表現で記載している場合があります。

プロトコル	整合性	キーの有効期間(分/KB)
ESP	SHA1	60/100000
AH	SHA1	60/100000

データの整合性と暗号化 ※プロトコルは、Windowsの画面表示とは別の表現で記載している場合があります。

プロトコル	整合性	暗号化	キーの有効期間(分/KB)
ESP	SHA1	AES128	60/100000
ESP	SHA1	DES3	60/100000

認証方法

- ☐ 既定
☐ コンピューターとユーザー (Kerberos V5)
☐ コンピューター (Kerberos V5)
☒ ユーザー (Kerberos V5)
☐ 詳細設定

1 番目の認証

1 番目の認証方法

方法1

- ☒ コンピューター (Kerberos V5)
☐ コンピューター (NTLMv2)
☐ コンピューター証明書
☐ 事前共有キー

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

- ☐ 正常性証明書のみを受け入れる
☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	☐ 制限なし	☐ 選択のみ	☐ 検証のみ
------	----------------------------	----------------------------	----------------------------

拡張キー使用法 (EKU)	
証明書名の制限	
名前の種類の選択	
証明書の名前	
証明書の拇印	
拇印	
☐ 証明書の更新の追跡	

オプション

■ 1 番目の認証をオプションにする

2 番目の認証

2 番目の認証方法

方法1

- ユーザー (Kerberos V5)
- ユーザー (NTLMv2)
- ユーザー証明書
- コンピューター正常性証明書

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	☐ 制限なし	☐ 選択のみ	☐ 検証のみ
拡張キー使用法 (EKU)			
証明書名の制限			
名前の種類の選択			
証明書の名前			
証明書の拇印			
拇印			
☐ 証明書の更新の追跡			

オプション

☐ 2 番目の認証をオプションにする

IPsec の除外

IPsec から ICMP を除く	いいえ
-------------------	-----

IPsec トンネルの承認

- なし
- 詳細設定

コンピューター

承認されているコンピューター (以下のコンピューターからの接続のみを許可する)

--

例外 (これらのコンピューターからの接続を拒否する)

--

ユーザー

承認されているユーザー (以下のコンピューターからの接続のみを許可する)

--

例外 (これらのユーザーからの接続を拒否する)

--

7.2. 接続セキュリティの規則

No. 1 分離

名前	分離
説明	分離

■ 有効

リモートコンピューター

エンドポイント1

- 任意のIPアドレス
- これらのIPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX

エンドポイント2

- ☐ 任意のIPアドレス
- ☒ これらのIPアドレス

XXX.XXX.XXX.XXX

プロトコルおよびポート

プロトコルの種類	任意
プロトコル番号	任意
エンドポイント1のポート	すべてのポート
エンドポイント2のポート	すべてのポート

認証

要件	受信と送信を要求する
----	------------

方法

- ☒ 既定
- ☐ コンピューターとユーザー (Kerberos V5)
- ☐ コンピューター (Kerberos V5)
- ☐ ユーザー (Kerberos V5)
- ☐ 詳細設定

1 番目の認証

1 番目の認証方法

方法1

- ☒ コンピューター (Kerberos V5)
 - ☒ Kerberos プロキシ サーバーを使用する
 - ☐ コンピューター (NTLMv2)
 - ☐ コンピューター証明書
 - ☐ 事前共有キー

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

- ☐ 正常性証明書のみを受け入れる
- ☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	☐ 制限なし	☐ 選択のみ	☐ 検証のみ
拡張キー使用法 (EKU)			
証明書名の制限			
名前種類の選択			
証明書の名前			
証明書名の拇印			
拇印			

- ☐ 証明書の更新の追跡

オプション

- ☐ 1 番目の認証をオプションにする

2 番目の認証

2 番目の認証方法

方法1

- ☒ ユーザー (Kerberos V5)
 - ☒ Kerberos プロキシ サーバーを使用する
 - ☒ ユーザー (NTLMv2)
 - ☐ ユーザー証明書
 - ☐ コンピューター正常性証明書

<証明書設定>

署名アルゴリズム	
証明書ストアの種類	
証明書	

- ☐ アカウントのマッピングで証明書を有効にする

証明書の条件プロパティの詳細設定

使用制限	☐ 制限なし	☐ 選択のみ	☐ 検証のみ
拡張キー使用法 (EKU)			

証明書名の制限	
名前種類の選択	
証明書の名前	
証明書名の拇印	
拇印	
☐ 証明書の更新の追跡	

オプション

- ☐ 2 番目の認証をオプションにする

詳細設定

プロファイル	☒ ドメイン	☐ プライベート	☐ パブリック
インターフェイスの種類			
☒ すべての種類のインターフェイス ☐ これらのインターフェイスの種類 ☐ ローカル エリア ネットワーク ☐ リモート アクセス ☐ ワイヤレス			
IPsec トンネリング			
☐ IPsec トンネリングを使用する ☐ 承認を適用する ☐ IPsec で保護されている接続を除外する			
ローカル トンネル エンドポイント (エンドポイント 1に最も近い)			
IPv4			
IPv6			
リモート トンネル エンドポイント (エンドポイント 2に最も近い)			
IPv4			
IPv6			

一部省略

7.3. 受信の規則/送信の規則

※受信の規則/送信の規則は合計で2000件を上限に記載しています。

No. 1 [受信の規則] コア ネットワーク - マルチキャスト リスナー レポート (ICMPv6 受信)

名前	コア ネットワーク - マルチキャスト リスナー レポート (ICMPv6 受信)
説明	マルチキャスト リスナー レポートのメッセージは、特定のマルチキャスト アドレスでのマルチキャスト トラフィックの受信、またはマルチキャスト リスナー クエリに対する応答のいずれか求める情報をすぐに報告するため、リスニング ノードで使用されます。

☒ 有効

操作

- ☒ 接続を許可する
- ☐ セキュリティで保護されている場合、接続を許可する
- ☐ 認証され整合性が保護されている接続のみを許可する
 - ☐ 接続の暗号化を要求する
 - ☐ コンピューターに動的な暗号化の交渉を許可する
 - ☐ 接続に NULL カプセル化の使用を許可する
 - ☐ ブロックの規則より優先する
- ☐ 接続をブロックする

プログラムおよびサービス

プログラム	
☐ 指定の条件を満たすすべてのプログラム	
☒ 次のプログラム	System

アプリケーション パッケージ

- ☒ すべてのプログラムとアプリケーション パッケージに適用する
- ☐ アプリケーション パッケージのみに適用する
- ☐ このアプリケーション パッケージに適用する
- または、このアプリケーション パッケージ SID を持つアプリケーション パッケージに適用する

アプリケーションSID	
-------------	--

サービス

- ☒ すべてのプログラムとサービスに適用する
- ☐ サービスのみに適用する
- ☐ このサービスに適用する または、このサービスの短い名前が付いたサービスに適用する

サービス	
短い名前のサービス	

コンパートメント

- ☒ 指定の条件を満たすすべてのコンパートメント
- ☐ 次のコンパートメント

リモート コンピューター

承認されているコンピューター（以下のコンピューターからの接続のみを許可する）

例外（以下のコンピューターからの接続にはこの規則を適用しない）

プロトコルおよびポート

プロトコルの種類	IPv6-ICMP
プロトコル番号	58
ローカルポート	
リモートポート	

インターネット制御メッセージプロトコル（ICMP）の設定

- ☐ すべての種類の ICMP
- ☒ 特定の種類の ICMP

マルチキャスト リスナー レポート (131:*)

スコープ

ローカルIPアドレス

- ☒ 任意のIP アドレス
- ☐ これらのIP アドレス

リモートIPアドレス

- ☐ 任意のIP アドレス
- ☒ これらのIP アドレス

ローカル サブネット

詳細設定

プロファイル ☒ ドメイン ☒ プライベート ☒ パブリック

インターフェイスの種類

- ☒ すべての種類のインターフェイス
- ☐ これらのインターフェイスの種類
 - ☐ ローカル エリア ネットワーク
 - ☐ リモート アクセス
 - ☐ ワイヤレス

エッジトラバーサル エッジ トラバーサルをブロックする

ローカル プリンシパル

承認されているユーザー（以下のユーザーのみに接続を許可する）

例外（以下のユーザーからの接続にはこの規則を適用しない）

リモートユーザー

承認されているユーザー（以下のユーザーのみに接続を許可する）

例外（以下のユーザーからの接続にはこの規則を適用しない）

一部省略

8. タスク スケジューラ

この一覧のタスクの記載順は更新日時の降順です。
また、更新日時についてはシステムフォルダー(%SystemRoot%\system32\Tasks)配下の設定ファイルの更新日時を参照しています。

場所	名前	状態	作成日時	作成者	更新日時
%Microsoft%\Windows%\Windows Update%	Scheduled Start	Ready		Microsoft Corporation.	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	Schedule Scan	Ready		Microsoft Corporation	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	Reboot	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\Software ProtectionPlatform%	SvcRestartTask	Ready		Microsoft Corporation	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	MusUx_LogonUpdateResults	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	MusUx_UpdateInterval	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%	MicrosoftEdgeUpdateTaskMachineCore	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%	MicrosoftEdgeUpdateTaskMachineUA	Ready			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\Data Integrity Scan%	Data Integrity Scan	Ready		Microsoft Corporation	YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\UpdateOrchestrator%	Resume On Boot	Disabled			YYYY-MM-DD hh:mm:ss
%Microsoft%\Windows%\%.NET Framework%	.NET Framework NGEv4.0.30319 64	一部省略		14:53:37.9516706	YYYY-MM-DD hh:mm:ss

9. タスク スケジューラ (詳細設定)

※本章における期間の表記について

タスク スケジューラでは期間を指定する設定がいくつかあります。それらの期間は次のフォーマットで表記しています。

フォーマット: d.hh:mm:ss (d: 日、hh: 時、mm: 分、ss: 秒)

例: 30分 → 00:30:00

3日 → 3.00:00:00

72時間 → 3.00:00:00

※各タスクの更新日時についてはシステムフォルダー(%SystemRoot%\system32\Tasks)配下の設定ファイルの更新日時を参照しています。

※本章のタスクの記載順は場所と名前の昇順です。

No. 1 UbtFrameworkService

場所	¥
名前	UbtFrameworkService
状態	Disabled
説明	User Experience Improvement Program Framework Service
作成日時	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
作成者	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
更新日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss

セキュリティオプション

タスクの実行時に使うユーザー アカウント

ユーザー	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
グループ	Everyone

☐ ユーザーがログオンしているときのみ実行する

☐ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する

☐ パスワードを保存しない (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)

☒ 最上位の特権で実行する

☒ 表示しない

構成: Windows Vista™, Windows Server™ 2008

トリガー

※カスタム トリガーについては、システムで定義、管理されており、設定できない為、設定内容を記載しておりません。

No. 1

タスクの開始	ログオン時
--------	-------

設定

☒ 任意のユーザー

☐ 特定のユーザー

詳細設定

☒ 遅延時間を指定する

00:06:00

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

操作

No. 1

優先順位	1
操作	プログラムの開始

設定

プログラム/スクリプト	"C:\Program Files\Acer\User Experience Improvement Program Service\Framework\TriggerFramework.exe"
引数の追加	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
開始	XXXXXXXXXXXXXXXXXX

条件

アイドル

☐ 次の間アイドル状態の場合のみタスクを開始する	00:10:00
アイドル状態になるのを待機する時間	01:00:00

☒ コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止する

☐ 再びアイドル状態になったら再開する

電源

- ☐ コンピューターを AC 電源で使用している場合のみタスクを開始する
 - ☐ コンピューターの電源をバッテリーに切り替える場合のみ停止する
- ☐ タスクを実行するためにスリープを解除する

ネットワーク

- ☐ 次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する任意の接続

設定

- ☒ タスクを要求時に実行する
- ☐ スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった場合、すぐにタスクを時刻する
- ☒ タスクが失敗した場合の再起動の間隔00:02:00
 - 再起動試行の最大数999 回
- ☐ タスクを停止するまでの時間
- ☒ 要求時に実行中のタスクが終了しない場合、タスクを強制的に停止する
- ☐ タスクの再実行がスケジュールされていない場合に削除されるまでの時間
- タスクが既に実行中の場合に適用される規新しいインスタンスを開始しない

No. 2 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

場所	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
名前	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
状態	Ready
説明	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
作成日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss:fff
作成者	XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
更新日時	YYYY-MM-DD hh:mm:ss

セキュリティオプション

- タスクの実行時に使うユーザー アカウント
 - ユーザーXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX
 - グループXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

- ☒ ユーザーがログオンしているときのみ実行する
- ☐ ユーザーがログオンしているかどうかにかかわらず実行する
 - ☐ パスワードを保存しない (タスクがアクセスできるのはローカル コンピューター リソースのみ)
- ☒ 最上位の特権で実行する

- ☐ 表示しない構成: Microsoft Windows 10 Pro

トリガー

※カスタム トリガーについては、システムで定義、管理されており、設定できない為、設定内容を記載しておりません。

No. 1

- タスクの開始スケジュールに従う
- 設定
 - 開始YYYY-MM-DDThh:mm:ss☐ タイムゾーン間で同期
 - ☒ 1 回☐ 毎日☐ 毎週☐ 毎月

- 詳細設定
 - ☐ 遅延時間を指定する (ランダム)
 - ☐ 繰り返し間隔01:00:00
 - 継続時間01:00:00:00
 - ☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する
 - ☐ 停止するまでの時間
 - ☒ 有効期限YYYY-MM-DDThh:mm:ss☐ タイムゾーン間で同期
 - ☒ 有効

No. 2

- タスクの開始ログオン時
- 設定
 - ☐ 任意のユーザー
 - ☒ 特定のユーザーSAY¥Tech-User
- 詳細設定
 - ☐ 遅延時間を指定する
 - ☐ 繰り返し間隔01:00:00
 - 継続時間01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

No. 3

タスクの開始 スタートアップ時

詳細設定

☒ 遅延時間を指定する

00:15:00

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間 01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

No. 4

タスクの開始 アイドル時

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

00:15:00

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間 01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

No. 5

タスクの開始 イベント時

設定

☐ 基本

☒ カスタム

ログ

ソース

イベントID

XML Microsoft-Windows-Winsock-WS2HELP/Operational">*[System[(Level=1) and TimeCreated[timediff(@SystemTime) <=

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間 01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

No. 6

タスクの開始 タスクの作成/変更時

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間 01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ 有効期限

☒ 有効

☐ タイムゾーン間で同期

☐ タイムゾーン間で同期

No. 7

タスクの開始 ユーザー セッションへの接続時

設定

<ユーザー>

● 任意のユーザー

○ 特定のユーザー

<コンピューター>

● リモート コンピューターからの接続

○ ローカル コンピューターからの接続

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ タイムゾーン間で同期

☐ 有効期限

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 8

タスクの開始

ユーザー セッションからの切断時

設定

<ユーザー>

● 任意のユーザー

○ 特定のユーザー

<コンピューター>

● リモート コンピューターからの接続

○ ローカル コンピューターからの接続

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ タイムゾーン間で同期

☐ 有効期限

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 9

タスクの開始

ワークステーション ロック時

設定

<ユーザー>

● 任意のユーザー

○ 特定のユーザー

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間

☐ アクティブ化

☐ タイムゾーン間で同期

☐ 有効期限

☐ タイムゾーン間で同期

☒ 有効

No. 10

タスクの開始

ワークステーション アンロック時

設定

<ユーザー>

● 任意のユーザー

○ 特定のユーザー

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する

☐ 繰り返し間隔

01:00:00

継続時間

01:00:00:00

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する

☐ 停止するまでの時間	
☐ アクティブ化	☐ タイムゾーン間で同期
☐ 有効期限	☐ タイムゾーン間で同期
☒ 有効	

操作

No. 1	
優先順位	1
操作	プログラムの開始
設定	
プログラム/スクリプト	C:¥Users¥XXXXXXXXXXXXXXXXXX
引数の追加	
開始	

条件

アイドル	
☒ 次の間アイドル状態の場合のみタスクを開始する	00:10:00
アイドル状態になるのを待機する時間	01:00:00
☒ コンピューターがアイドル状態でなくなった場合は停止する	
☐ 再びアイドル状態になったら再開する	

電源

- ☒ コンピューターを AC 電源で使用している場合のみタスクを開始する
- ☒ コンピューターの電源をバッテリーに切り替える場合のみ停止する
- ☐ タスクを実行するためにスリープを解除する

ネットワーク

☒ 次のネットワーク接続が使用可能な場合のみタスクを開始する	XXXXXXXXXXXXXXXXXX
--	--------------------

設定

☒ タスクを要求時に実行する	
☐ スケジュールされた時刻にタスクを開始できなかった場合、すぐにタスクを時刻する	
☐ タスクが失敗した場合の再起動の間隔	
再起動試行の最大数	0 回
☒ タスクを停止するまでの時間	3.00:00:00
☒ 要求時に実行中のタスクが終了しない場合、タスクを強制的に停止する	
☐ タスクの再実行がスケジュールされていない場合に削除されるまでの時間	
タスクが既に実行中の場合に適用される規則	新しいインスタンスをキューに追加